

令和2(2020)年度学校評価 評価指標の達成状況

重点目標	評価項目	評価指標(a)	達成状況(b)		全国平均	達成度 (b/a×100)	
1 教育内容の充実	分かりやすい講義 (アンケート結果) 大体分かる	80 % (96名)	87名/121名×100	71.9%	—	90.0%	A
	農業技術検定合格率	3級	28名/41名×100	68.3%	66.0%	68.3%	C
		2級	50%以上 (15名)	6名/31名×100	19.4%	20.9%	40.0%
	スマート農業に接する 学生の割合	100 % (121名)	121名/121名×100	100%	—	100.0%	A
2 入学生の確保	農業生産学部 応募者	70名以上	(推48)+(前13)+(後6)	67名	—	95.7%	A
		70名以上	(推46)+(前8)+(後4)	58名	—	82.9%	B
	農業経営学部 (いちご学科) 応募者	10名以上	13名	13名	—	130.0%	A
		10名以上	9名	9名	—	90.0%	A
		定員充足率	83.8%	79.7%			
	オープンキャンパス 参加者数	160名以上	農業生産学部 第1回50名 第2回33名 農業経営学部(いちご学科) 第1回26名 第2回17名	126名	78.8%	B	
3 進路指導の強化	就農率	60 % (32名)	13名/53名×100	24.5%	51.3%	40.6%	D
	進路決定率	100 % (53名)	51名/53名×100	96.2%	98.1%	96.2%	A
4 研修機能の向上	分かりやすい講義 (アンケート結果) 満足度	80 % (28名)	35名/35名×100	100%	—	125.0%	A
	専門研修の 修了生農業従事率	80 % (17名)	18名/21名×100	85.7%	—	105.9%	A

※ 達成度 A: 90%以上 B: 70%以上 90%未満 C: 50%以上 70%未満 D: 50%未満

【全国平均について】

上記表中、「定員充足率」「就農率」「進路決定率」については、全国農業大学校協議会作成の「令和2年度全国農業大学校等の概要」に基づく数値(平成31(令和元)年度卒業生及び令和2年度入学生の状況)によるものです。

【スマート農業に接する学生の割合について】

農業経営学科：水稲、麦大豆→水位観測システム＋foeas 導入
：露地野菜 →収穫機・定植機（ICT：苗テラス導入）

園芸経営学科

野菜：いちご →気象観測データ収集・複合環境制御 苗テラス導入
：トマト →気象観測データ収集・複合環境制御 スマホによる制御
花き：複合環境制御装置 苗テラス導入
果樹：気象観測データ収集

畜産経営学科：牛群管理システム、個別感知センサー及びカメラ設置によるモニタリング
（分娩感知センサー（牛温恵）、（発情感知センサー（牛歩））